年間授業計画　新様式

東京都立世田谷泉　高等学校　令和４年度　教科：　芸術　　科目：デザイン基礎

教　科：　芸術　　科　目：　デザイン基礎　　単位数：　2　単位

対象年次・講座：第１　年次　① ② ③

教科担当者：①吉田　　②中村　　③

使用教科書：（ なし　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】　芸術に関する各科目の特質について理解すると共に、意図に基づいて表現するための技能を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることが出来る。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目　デザイン基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
表現の目的や意図に応じて、材料や用具の特性を理解し、制作の手順を考え、構想のイメージを的確に表現出来ている。	デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練ることが出来ている。	飾る、伝える、使う等のデザインの目的や条件、美しさを考え、主題を生成して取り組んでいる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 知	表現 技	表現 発	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	表現/鑑賞「対象コラージュ」コラージュ【知識及び技能】感覚的な知識・技術を培い、選んだ内容の特性を生かし、作品を構想する。【思考力、判断力、表現力等】感覚的な色や形を、デザインの機能や効果について考えを深め、創造的に構想する。【学びに向かう力、人間性等】コラージュの特性を生かして主題を生成し、創作活動に主体的に取り組む。	【指導事項】例）重い。軽いといった感覚的なテーマを各自選び、色紙や広告を使い平面構成を行う。 【教材】プリント、ワークシート、色紙 【一人１台端末の活用】商業的な広告などを引用し、アイデア収集を行う。	○	○			【知識・技能】美しく、効果的な色や形を用いて平面構成を行うことができる。【思考力・判断力・表現力等】文字情報やイラストの特性を知り、図案に生かしている。【学びに向かう力・人間性等】休まずに授業に出席し、限られた時間内により良いものを作ろうとする。	○	○	○	20
	表現/鑑賞「ロゴマーク」【知識及び技能】ロゴマークの掘方を学び、組み合わせやパターンのデザインを知る。【思考力、判断力、表現力等】形態を生かした画面構成を考え、機能や効果を生かしたものを構想する。【学びに向かう力、人間性等】客観的な視点を持ち、他者に美しさを伝えようとする。	【指導事項】ワークシートや資料を参考にアクリル絵の具を用いて制作方法を知る。ロゴマークの図案を考え、パターンや印刷について主題を生成しながら構想する。 【教材】アクリル絵の具、水張りパネル、トレーシングペーパー、BYOD端末 【一人１台端末の活用】 制作動画の視聴やロゴマークデザインを生成する方法を学ぶ。		○	○		【知識・技能】ロゴマークデザインについて役割や効果について知る。アクリル絵の具の使用法について習作を踏み段階的に習得する。【思考力・判断力・表現力等】ロゴマークの特性を知り、図案や本番の制作制作に生かす。【学びに向かう力・人間性等】振り返りシートの作成やロゴマークの制作を通して他者に自己の意図する表現を行っている。	○	○	○	12
	表現/鑑賞「くじ引きポスターデザイン」(前半)　【知識及び技能】くじ引きで割り当てられた手間をを膨らませるためワークシートを活用し構想を練る。【思考力、判断力、表現力】画面構成を考え、モチーフや色彩から、他者に本のイメージを伝える。【学びに向かう力、人間性】形のつながりや画面の構図から美しさを見出し、見方や感じ方を深める。	【指導事項】著作権について学び、情報を収集し、デジタル端末を用いた制作方法を知る。 【教材】プリント、ワークシート、BYOD端末 【一人１台端末の活用】 著作権フリー画像を利用し、端末を活用して平面構成を行う。画像の加工・編集方法を学ぶ。	○		○		【知識・技能】画材の効果的な使用法を理解し意図的にそれらの知識をもとに活用している。【思考力・判断力・表現力等】課題を理解し、テーマに沿った作品制作を行うことができる。【学びに向かう力・人間性等】テーマに合わせた材料の扱い方を工夫し、表現に生かしている。	○	○	○	14
後期	表現/鑑賞「くじ引きポスターデザイン」(抗後半)　【知識及び技能】くじ引きで割り当てられた手間をを膨らませるためワークシートを活用し構想を練る。【思考力、判断力、表現力】画面構成を考え、モチーフや色彩から、他者に本のイメージを伝える。【学びに向かう力、人間性】形のつながりや画面の構図から美しさを見出し、見方や感じ方を深める。	【指導事項】著作権について学び、情報を収集し、デジタル端末を用いた制作方法を知る。 【教材】プリント、ワークシート、BYOD端末 【一人１台端末の活用】 著作権フリー画像を利用し、端末を活用して平面構成を行う。画像の加工・編集方法を学ぶ。	○	○			【知識・技能】画材の効果的な使用法を理解し意図的にそれらの知識をもとに活用している。【思考力・判断力・表現力等】課題を理解し、テーマに沿った作品制作を行うことができる。【学びに向かう力・人間性等】テーマに合わせた材料の扱い方を工夫し、表現に生かしている。	○	○	○	10
	表現/鑑賞「お菓子のパッケージデザイン」色彩構成【知識及び技能】コンセプトをを設定し、色彩を組み合わせて構想したことを基に創造する。【思考力、判断力、表現力等】配色についての理解を深め、伝達性や機能性を考えたデザインを発想・構想する。【学びに向かう力、人間性等】主体的に制作に取り組み、自己との関わりの中で豊かな情操を培う。	【指導事項】ワークシートを用いてコンセプト、テーマカラー、構図を構想する。アクリル絵具、ペンを用いてラベルのデザインを構想する。 【教材】プリント、ワークシート、アクリル絵具、筆 【一人一台端末の活用】既製品の色の組み合わせや色相の効果を反転させて、他者に与える印象の違いについて学ぶ。		○	○	○	【知識・技能】配色や構成について追及している。平面構成への理解を深める。【思考力・判断力・表現力等】コンセプトを思案して他者に対して自己の考えたデザインの美しさや生かす。【学びに向かう力・人間性等】課題の中で主題を見つけ、自己と他者の価値観の相違について理解する。	○	○	○	18
	鑑賞「建築デザイン」ケント紙による建築模型制作【知識及び技能】各自のテーマをもとに構想を深め、立体作品を完成させる。【思考力、判断力、表現力等】現代の生活に建築分野がどのように必要とされているか考察する。【学びに向かう力、人間性等】自身が生きる現代について、建築デザインの観点から興味を抱く。	【指導事項】ケント紙のみで制作することを念頭に置き、構想を練る。 【教材】プリント、ワークシート 【一人一台端末の活用】鑑賞した感想をデータで提出する。	○			○	【知識・技能】意匠に沿ったケント紙の取り扱いについて知る。【思考力・判断力・表現力等】ワークシートをもとにテーマに沿った建築アイデアスケッチを制作することができる。【学びに向かう力・人間性等】毎回の制作への取り組みや振り返り、次回への目標の記録（振り返りメモ等）	○	○	○	4
											合計
											78

年間授業計画　新様式

東京都立世田谷泉 高等学校　令和６年度　教科：　芸術　　科目：音楽Ⅱ

教　科：　芸術　　科　目：　音楽Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象年次・講座：　２～４　年次　① ②

教科担当者：①田中　光　②田中　光　③　　④

使用教科書：（　音楽Ⅱ　Tutti＋　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　音楽Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個性豊かな音楽表現を創意工夫できるようにするために、必要となる技能を身に付け高めることができるようにする。	音や音楽を知覚・感受し、思考・判断する過程を充実させ、音楽を評価しながら、そのよさや美しさを深く味わって聴く力を高める。	音や音楽と生活や社会とのかかわりについて考え、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度や、音や音楽の良さや美しさなどを自ら進んで感じ取ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	A オリエンテーション、J-POP 【知識及び技能】他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表現する。 【思考力、判断力、表現力等】個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	○「Pretender」 ○「見上げてごらん夜の星を」 ○「Hum With Me..」 ○季節の歌 ◆Review of Basics①② ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人１台端末	○			○	【知識及び技能】 他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	B アヴェ・マリア、西洋音楽史 【知識及び技能】音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わう。 【学びに向かう力、人間性等】文化的・歴史的背景との関わりを理解しながら比較鑑賞する学習に関心をもつ。	◆様々な時代の作曲家による歌曲や合唱曲の「アヴェ・マリア」 ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人１台端末	○			○	【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わっている。 【学びに向かう力、人間性等】文化的・歴史的背景との関わりを理解しながら比較鑑賞する学習に関心をもっている。	○	○	○	6
	C アルトリコーダー、アンサンブル 【知識及び技能】曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他社との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表す。 【思考力、判断力、表現力等】　個性豊かに器楽表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】楽器の奏法を身に付けることや音楽ひょうげんを創意工夫しながらアンサンブル活動をすることに関心をもつ。	リコーダー二重奏 □「Down by the sally gardens」 □「交響曲第1番」から第4楽章 □カノン集 ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人１台端末		○		○	【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わっている。 【学びに向かう力、人間性等】 文化的・歴史的背景との関わりを理解しながら比較鑑賞する学習に関心をもっている。	○	○	○	10
	D 日本歌曲 【知識及び技能】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け歌唱で表現する。 【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受する。 【学びに向かう力、人間性等】日本語の言葉の特性を捉えながら自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することに関心をもつ。	○「からたちの花」 ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人１台端末	○			○	【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わっている。 【学びに向かう力、人間性等】 文化的・歴史的背景との関わりを理解しながら比較鑑賞する学習に関心をもっている。	○	○	○	4
	E　日本の音楽、音風景 【知識及び技能】日本の音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】日本の音楽の響き、楽器の音色や奏法、構造などに関心をもつ。	◆日本の音楽 ◎箏曲「六段の調」 ◆日本の音風景～四季の音楽～ ◎「春の海」/雅楽「春庭花」 ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人１台端末				○	【知識及び技能】 日本の音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】日本の音楽の響き、楽器の音色や奏法、構造などに関心をもっている。	○	○	○	6

	F　イタリア歌曲 【知識及び技能】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け歌唱で表現する。 【思考力、判断力、表現力等】個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】イタリア語の言葉の特性を捉えながら自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することに関心をもつ。	○「Piacer d'amor」 ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人１台端末	○			○	【知識及び技能】 日本の音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の音楽の響き、楽器の音色や奏法、構造などに関心をもっている。	○	○	○	4
	G　オーケストラの音楽 【知識及び技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】オーケストラの様々な楽器の音色や響きによる表現上の効果と、主題の展開や再現などの音楽の構造との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。	◆交響曲の仕組み ◎交響曲第４０番ト短調K.550 ◆モーツァルトと交響曲 ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人１台端末				○	【知識及び技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 オーケストラの様々な楽器の音色や響きによる表現上の効果と、主題の展開や再現などの音楽の構造との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	H　ヴォイス・アンサンブル 【知識及び技能】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け歌唱で表現する。 【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受する。 【学びに向かう力、人間性等】日本語の言葉の特性を捉えながら自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することに関心をもつ。	○「ほたるこい」 ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人１台端末	○			○	【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け歌唱で表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】日本語の言葉の特性を捉えながら自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することに関心をもっている。	○	○	○	4
後期	I　三味線 【知識及び技能】曲想と楽器の音色や奏法との関わり、伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】　個性豊かに器楽表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】日本の楽器の奏法を学び、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む。	◆和楽器のしらべ □三味線「松の緑」 ◆日本音楽の流れ ◆音楽史と史実 ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人１台端末		○		○	【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わり、伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 個性豊かに器楽表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の楽器の奏法を学び、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	J　ドイツ歌曲 【知識及び技能】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け歌唱で表現する。 【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受する。 【学びに向かう力、人間性等】ドイツ語の言葉の特性を捉えながら自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することに関心をもつ。	○「歌の翼に」 ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人１台端末	○			○	【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け歌唱で表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ドイツ語の言葉の特性を捉えながら自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することに関心をもっている。	○	○	○	4
	K　オペラ、ミュージカル 【知識及び技能】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、他の芸術との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】音楽と他の文化が互いにどのように影響をし合って発展してきたかに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。	◎「トゥーランドット」 ○「Nessun dorma」 ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人１台端末	○			○	【知識及び技能】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、他の芸術との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】音楽と他の文化が互いにどのように影響をし合って発展してきたかに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	L　混声合唱 【知識及び技能】他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表現する。 【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】曲想が作品の作られた背景や作曲者の思いによってもたらされていることを理解しながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫することに関心をもつ。	混声三部合唱 ○「たからもの」 ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人１台端末	○			○	【知識及び技能】 他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 曲想が作品の作られた背景や作曲者の思いによってもたらされていることを理解しながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫することに関心をもっている。	○	○	○	8

	M　名曲プレゼンテーション 【知識及び技能】他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表現する。 【思考力、判断力、表現力等】音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】曲想が作品の作られた背景や作曲者の思いによってもたらされていることを理解しながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫することに関心をもつ。	◆名曲プレゼンテーション～演奏家と楽器が生み出す音楽の魅力～ ・知識理解教材（自作プリント等） [紹介文、鑑賞ノート] ・一人１台端末				○	【知識及び技能】 他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 曲想が作品の作られた背景や作曲者の思いによってもたらされていることを理解しながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫することに関心をもっている。	○	○	○	4
	N　世界の音楽 【知識及び技能】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びそれらの関わりによって生み出される表現上の効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】世界の諸民族の声の音楽から音楽表現の多様性を捉えることや、固有性、共通性を考えることに興味をもつ。	◆世界の声の音楽、楽器の音楽 ◎ジョージアの男性合唱 ◎ポリネシアのヒメネ ◎ドゥルパド ・知識理解教材（自作プリント等） ・一人１台端末	○			○	【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びそれらの関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の諸民族の声の音楽から音楽表現の多様性を捉えることや、固有性、共通性を考えることに興味をもっている。	○	○	○	4 78

年間授業計画　新様式

東京都立世田谷泉　高等学校　令和６年度　教科：　音楽　科目：音楽演習

教　科：　音楽　　科　目：　音楽演習　　単位数：　2　単位

対象年次・講座：第１年次　Ⅰ部：①　Ⅱ部：②　Ⅲ部：②③④

教科担当者：①上川　貴大　②上川　貴大　③城戸　賀代④城戸　賀代⑤　⑥
⑦　⑧　⑨　⑩　⑪　⑫

使用教科書：（ 副教材「高校生のための音楽研究ノート」 ）

教科　音楽　の目標：

【知識及び技能】 音楽に関する専門的内容について理解し、表現するために必要な技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 音楽に関する専門的な知識や技能をもとに音楽の表現内容を解釈したり、表現意図をもって演奏できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 主体的に音楽に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、音楽文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。

科目　音楽演習　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
楽譜を見るにあたっての知識を身につけ、初めての曲でも読譜できるようにする。	楽典の基礎知識を元に応用できるようにし、キーボード演習に結びつけられるようにする。	自ら読譜をして演奏を楽しむことにより、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	A　オリエンテーション 音名、音取り、リズム打ち キーボード基礎	・日本音名、英音名、ドイツ音名 ・音取り ・拍子の種類、リズム打ち ・キーボードの音の位置と基礎練習 ※高校生のための音楽研究ノート、プリント使用	【知識・技能】 ・音名について理解している。 ・拍子の種類について理解し、リズムを打つことができる。 ・キーボードを正しい姿勢で弾いている ・キーボードと音名の位置関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・楽譜から音名を読み取れる。 ・臨時記号をつけた場合にも応用できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうをしている。 ・意欲をもって練習に取り組んでいる。	○	○	○	14
	B　半音・全音、音取り、 音符・休符、リズム打ち キーボード基礎	・半音と全音の区別 ・音取り ・音符と休符の長さ ・リズム打ち ・キーボードの基礎練習 ※高校生のための音楽研究ノート、プリント使用	【知識・技能】 ・半音と全音の違いについて理解している。 ・音符と休符の長さを理解して、リズム打ちをしている。 ・指の使い方に注意しながら、練習している。 【思考・判断・表現】 ・音符や休符を見て、リズム打ちができる。 ・ハンドサインを見てある程度音の高さがわかる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうをしている。 ・意欲をもって練習に取り組んでいる。	○	○	○	12
	C　音程、音取り キーボード基礎	・音程の種類 ・聞き取り練習 ・キーボードの基礎練習 ※高校生のための音楽研究ノート、プリント使用	【知識・技能】 ・音程のしくみについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・音を聞き取って、音の高低の感覚をつかめる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうをしている。 ・意欲をもって練習に取り組んでいる。	○	○	○	14
	D　音程、音取り、音階と調 キーボード応用	・音程の種類 ・聞き取り練習 ・音階のしくみと種類 ・調と調号 ・キーボードでの音階練習 応用練習 ※高校生のための音楽研究ノート、プリント使用	【知識・技能】 ・音程のしくみについて理解している。 ・音階のしくみについて知り、調との関係についても理解している。 【思考・判断・表現】 ・臨時記号のついて音程についても自分で考えて音程がわかる。 ・ハ長調の音階を他の調にも応用できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうをしている。 ・意欲をもって練習に取り組んでいる。	○	○	○	14

後期	E　コードネーム キーボード応用	・コード、和音のしくみ ・コードのキーボードへの応用 ・キーボード応用練習 ※高校生のための音楽研究ノート、プリント使用	【知識・技能】 ・コード、和音のしくみを理解している 【思考・判断・表現】 ・キーボードでコードを考えながら弾こうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうをしている。 ・意欲をもって練習に取り組んでいる。 ・自分でコードを探りながら演奏しようとしている。	○	○	○	14
	F　アレンジ・創作、まとめ キーボード応用	・アレンジ・創作のポイント ・コードつけ ・キーボード応用練習 ※高校生のための音楽研究ノート、プリント使用	【知識・技能】 ・アレンジや創作のポイントをおさえている。 【思考・判断・表現】 ・アレンジのポイントをつかみながら、創作しようとしている。 ・コードの響きの特徴をつかんでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説明を聞いた上で、自分で問題に取り組もうをしている。 ・意欲をもって練習に取り組んでいる。	○	○	○	10
							合計 78

年間授業計画 新様式

東京都立世田谷泉　高等学校　令和６年度　教科： 芸術　科目： 工芸Ⅰ

教　科： 芸術　科　目： 工芸Ⅰ　単位数： 2 単位

対象年次・講座：第１　年次　Ⅰ部：①　Ⅱ部：②　Ⅲ部：③

教科担当者：①吉田美幸　②吉田美幸　③中村馨章

使用教科書：（ 工芸Ⅰ　日本文教出版 ）

教科　芸術　の目標：

【知識及び技能】　芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目　工芸Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会をより豊かにするために工夫する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 身	表現 社	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	表現/鑑賞「ろうけつ染め」ハンカチ【知識及び技能】ハンカチの用途と美しさとの調和を考え、技法の特性を生かした図柄を構想する。【思考力、判断力、表現力等】折りたたんだ時の図柄の出方まで構想に含み、その構想に沿った図案を練る。【学びに向かう力、人間性等】蝋の特性を感覚的にとらえ、表現する際にも意図に応じて特性を生かす。	【指導事項】【教材】ハンカチ・蝋・蝋溶器【一人１台端末の活用】ろうけつ染めについての調査・図案を練る。作品の制作工程や完成形を写真で記録する。	○		○	【知識・技能】ろうけつ染めの歴史を知る。他の防染技法について知る。【思考力・判断力・表現力等】「ろう」の特性を知り、図柄に生かす。【学びに向かう力・人間性等】休まずに授業に出席し、限られた時間内により良いものを作ろうとする。	○	○	○	10
前期	鑑賞「木彫」工芸作品（伝統的・現代的）【知識及び技能】時代ごとの日本の伝統的な工芸作品と技法ぎついて知る。　【思考力、判断力、表現力等】現代の生活に伝統的な事柄がどのように生きているか考察する。【学びに向かう力、人間性等】自身が生きる現代の日本について、工芸技法の観点から興味を抱く。	【指導事項】東京国立近代美術館所蔵作品を、サイトから鑑賞させる。【教材】プリント【一人一台端末の活用】東京国立近代美術館教育用作品保管ページにアクセスし、鑑賞する。		○	○	【知識・技能】一般常識程度の我が国の伝統文化について知る。【思考力・判断力・表現力】工芸品や工芸技法を通して、我が国の伝統文化について興味を深め、自分なりの考えを持つ。【学びに向かう力・人間性等】物事と物事のつながりについて考えをめぐらす。	○	○	○	2
前期	表現/鑑賞「木彫」バターナイフ【知識及び技能】木の特性、用具の名前などを知り、必要に応じて使い分ける。　【思考力、判断力、表現力等】実際に使うことを想定して自分の生活を振り返り、使いやすさについて考える。【学びに向かう力、人間性等】木の特性を感覚的にとらえ、表現する際にも意図に応じて特性を生かす。	【指導事項】【教材】木材・彫刻刀・万力・鉄やすり・紙やすり・胡桃オイル【一人１台端末の活用】市販のバターナイフ製品の調査。作品の制作工程や完成形を写真で記録する。		○		【知識・技能】木材の特性を知り、技法に生かす。【思考力・判断力・表現力等】「使いやすさ」について、手の構造などから深く構想する。【学びに向かう力・人間性等】休まずに授業に出席し、限られた時間内により良いものを作ろうとする。	○	○	○	14
前期	表現/鑑賞「鋳造」キーホルダー【知識及び技能】金属の様々な加工方法について知る。【思考力、判断力、表現力等】実際に使うことを想定して自分の生活を振り返り、使いやすさについて考える。【学びに向かう力、人間性等】木の特性を感覚的にとらえ、表現する際にも意図に応じて特性を生かす。	【指導事項】【教材】ピューターインゴットメタル・ボール紙・コルクシート【一人一台端末の活用】金属加工法について調査する。作品の制作工程や完成形を写真で記録する。		○		【知識・技能】金属が変化することを理解し、それおぞれの技法を生かした製品などを知る。【思考力・判断力・表現力等】実際に使うことを想定して、使いやすさを考えたデザインとする。【学びに向かう力・人間性等】特性に合わせた材料の扱い方を工夫し、表現に生かす。	○	○	○	10
後期	表現/鑑賞「張り子」お面製作【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】お面の伝統的な役割などを知り、現代の生活感に合った「お面」について構想する。【学びに向かう力、人間性等】和紙の特性を感覚的にとらえ、表現する際にも意図に応じて特性を生かす。	【指導事項】【教材】油土・ねんどべら・和紙・ボンド【一人一段端末の活用】お面について調査する。作品の制作工程や完成形を写真で記録する。	○			【知識・技能】和紙の特性を知り、作業に生かす。【思考力・判断力・表現力等】お面の歴史などを知ったうえで、造形的な視点から自分の表現につなげる。【学びに向かう力・人間性等】世界の文化に触れ、興味を深める。	○	○	○	16
後期	表現/鑑賞「籐」籠編み【知識及び技能】籐の特性、用具の名前などを知り、必要に応じて使い分ける。　【思考力、判断力、表現力等】実際に使うことを想定して自分の生活を振り返り、使いやすさについて考える。【学びに向かう力、人間性等】籐の特性を感覚的にとらえ、表現する際にも意図に応じて特性を生かす。	【指導事項】【教材】籐芯材・やっとこ・水桶・はさみ【一人１台端末の活用】籠編みの材料や技法の調査。作品の制作工程や完成形を写真で記録する。	○		○	【知識・技能】編み目を均一に、なおかつ自分の持ったイメージに向かって形態を整える。【思考力・判断力・表現力等】どのように編めば思った通りの形になるか、考えながら作業する。【学びに向かう力・人間性等】単調な作業に、飽きずに取り組む。	○	○	○	16
後期	表現/鑑賞「ミニチュアの椅子」製作【知識及び技能】人体の仕組みや動作について知り、家具の形態に生かす。【思考力、判断力、表現力等】使いよさと美しさのバランスを考える。【学びに向かう力、人間性等】現実的な形態を用いつつ、想像力を働かせて自由なデザインをする。	【指導事項】【教材】角棒（5mm/3mm）・丸棒・接着剤・細密のこぎり【一人１台端末の活用】「椅子・座ること」の調査。作品の制作工程や完成形を写真で記録する。		○	○	【知識・技能】考えを形にする。丁寧に作業をする。【思考力・判断力・表現力等】「座る」という行為について深く考察するとともに、造形的な視点を持って美しい形についても同時に考える。【学びに向かう力・人間性等】材料や形態に興味を持ち、自分のイメージに作品を近づける。	○	○	○	10
										合計 78

年間授業計画　新様式

東京都立世田谷泉　　高等学校　　令和６年度　教科：芸術　　科目：工芸Ⅱ

教　科：　芸術　　科　目：　工芸Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象年次・講座：第１年次　　Ⅰ部：①　２～４年次　Ⅱ部：②２～４年次 Ⅲ部：③2～4年次

教科担当者：①豊浦　愛　　②豊浦　愛　③

使用教科書：（　工芸Ⅱ（日本文教出版）　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】　芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目　工芸Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かにに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
前期	表現／鑑賞　木彫：壁掛け時計制作 【知識及び技能】木彫の技法や道具の扱い方を理解し表現させる【思考力、判断力、表現力等】主題にあった構想を練り、それを基にデザイン案を描かせる【学びに向かう力、人間性等】授業を振り返り、課題と成果をみつけて粘り強く取り組ませ計画的な学習計画をたてさせる	【指導項目】【教材】自分のイメージをふくらませ、具体的なデザインにする、又それを木の特性を生かして形にする。木材・彫刻刀・糸鋸・やすり類・木彫用オイルステイン 【一人一台端末の活用】制作工程を写真で記録し、振り返りに活かす。	○			○	【知識・技能 】木彫の技法や道具の扱い方を理解し表現できている 【思考・判断・表現】木材の特性を理解し、それを基にデザイン案を描いている 【主体的に学習に取り組む態度】授業を振り返り、課題と成果をみつけて粘り強く取り組ませ計画的な学習計画をたてている	○	○	○	18
	表現／鑑賞　ステンドグラス：自由制作【知識及び技能】ステンドグラスの作業工程や道具の扱い方を理解し表現させる【思考力、判断力、表現力等】素材や技法の特性にあった構想を練り、それを基に作品を構想、再作する。【学びに向かう力、人間性等】授業を振り返り、課題と成果をみつけて粘り強く取り組ませ計画的な学習計画をたてさせる	【指導項目】ガラスの色や透明感を観察し、それらを活かす形態を模索する。 【教材】板色ガラス・ガラス切り・銅テープ・はんだ・はんだごて・グラインダー・ゴーグル 【一人一台端末の活用】制作工程を記録し、振り返る。	○			○	【知識・技能 】材料の特性やや道具の扱い方を理解し、表現できている。 【思考・判断・表現】イメージを膨らませ、構想を練り、それを基に作品を手順通りに制作している。 【主体的に学習に取り組む態度】授業を振り返り、課題と成果をみつけて計画的な学習計画をたてている。	○	○	○	22
後期	表現／鑑賞　ステンドグラス（２作品目） 【知識及び技能】板ガラスの特性や道具の扱い方を理解し表現させる。 【思考力、判断力、表現力等】様々なイメージを構想し、それを基に立体作品を制作する。 【学びに向かう力、人間性等】授業を振り返り、課題と成果をみつけて計画的な学習計画をたてさせる	【指導項目】ガラスの色や透明感を観察し、それらを活かす形態を模索する。 【教材】板色ガラス・ガラス切り・銅テープ・はんだ・はんだごて・グラインダー・ゴーグル 【一人一台端末の活用】制作工程を記録し、振り返る。	○			○	【知識・技能 】材料の特性やや道具の扱い方を理解し、表現できている。 【思考・判断・表現】イメージを膨らませ、構想を練り、それを基に作品を手順通りに制作している。 【主体的に学習に取り組む態度】授業を振り返り、課題と成果をみつけて計画的な学習計画をたてている。	○	○	○	24
	表現／鑑賞　染色壁掛け 【知識及び技能】様々な漫画の表現を理解し表現させる。 【思考力、判断力、表現力等】漫画の画風を会得し、それを基に自画像を描かせる。 【学びに向かう力、人間性等】授業を振り返り、課題と成果をみつけ計画的な学習計画をたてさせる。	【指導項目】染色技法や布の特性を理解し表現に活かす。 【教材】布・染料・筆・バケツ・ろう・ろう溶器 【一人一台端末の活用】制作工程を記録し、振り返る。	○			○	【知識・技能 】布や技法の特性を理解し表現している 【思考・判断・表現】イメージを膨らませ、構想を練り、それを基に作品を手順通りに制作している。 【主体的に学習に取り組む態度】授業を振り返り、課題と成果をみつけて計画的な学習計画をたてている。	○	○	○	14
											合計 78

年間授業計画　新様式例

東京都立世田谷泉　　高等学校 令和6年度（１学年用）　教科　　芸術　　科目　書道Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　書道Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象年次・講座：　　第一, 二年次　　Ⅰ部：①　　Ⅱ部：②　　Ⅲ部：③

使用教科書：　　（ 書Ⅰ　光村図書　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目　書道Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
優れた古典作品に触れ、その制作の背景を学び、書体や作品の特徴的筆法・書風を理解し、臨書作品の制作に活かせる。	紙のサイズに合った線の太さや字の大きさを理解し、バランスの取れた作品に仕上げることが出来る。書の良さ、美しさ感受し、意図に基づいた構想を表現出来る。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、書の伝統と文化を感受し、日常における調和のとれた手書き文字を表現出来る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	単元「漢字の書」 【知識及び技能】 文房四宝について学ぶ 漢字の変遷と様々な書体を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 唐の四大家について学ぶ	・文房四宝の種類、製作方法、及び取り扱い方法を含めた用具用材について。 ・漢字の変遷、様々な書体について。 ・唐の四大家の作品を比較する。 ・教科書・ワークシート		○		○	【知識及び技能】 文房四宝について理解出来たか。 漢字の変遷と様々な書体が理解出来たか。 【思考力、判断力、表現力等】 唐の四大家の書風の違いを理解出来たか。	○	○		4
	単元「漢字の書」（楷書） 【知識及び技能】 『孔子廟堂碑』の書風を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 半紙サイズに漢字2字を表現する。	・虞世南について ・『孔子廟堂碑』の制作背景 ・臨書「天河」「玄妙」 ・教科書・ワークシート		○		○	【知識及び技能】 書家や作品についての基礎知識が理解出来たか。 伸びやかな点画や向勢がもたらす穏やで丸みのある書風で臨書出来たか。 【思考力、判断力、表現力等】 半紙サイズにバランス良く表現出来たか。	○	○		4
	単元「漢字の書」（楷書） 【知識及び技能】 『九成宮醴泉銘』の筆法・書風を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力】 半紙サイズに漢字2字を表現する。	・欧陽詢について ・『九成宮醴泉銘』の制作背景 ・臨書「清泉」「孟夏」 ・教科書・ワークシート		○		○	【知識及び技能】 書家や作品についての基礎知識が理解出来たか。 直線的で鋭い点画や緻密な構成、背勢がもたらす縦長の書風で臨書出来たか。 【思考力、判断力、表現力】 半紙サイズにバランス良く表現出来たか。	○	○		4
	単元「漢字の書」（楷書）」 【知識及び技能】 『雁塔聖教序』の筆法・書風を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力】 半紙サイズに漢字2字を表現する。	・褚遂良について ・『雁塔聖教序』の制作背景 ・臨書「春光」「玄奘」 ・教科書・ワークシート		○		○	【知識及び技能】 書家や作品についての基礎知識が理解出来たか。 行書的な用筆で、緩急・太細・強弱の変化に富んだ多彩な用筆の軽やかな書風で臨書出来たか。 蔵鋒の起筆は理解出来たか。 【思考力、判断力、表現力】 半紙サイズにバランス良く表現出来たか。	○	○		6
	単元「漢字の書」（楷書） 【知識及び技能】 『顔氏家廟碑』の筆法・書風を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力】 半紙サイズに漢字2字を表現する。	・顔真卿について ・『顔氏家廟碑』の制作背景 ・臨書「守道」「制度」 ・教科書・ワークシート		○		○	【知識及び技能】 書家や作品についての基礎知識が理解出来たか。 蔵鋒で起筆し肉太の点画や蚕頭燕尾の筆法、正方形で向勢の構えがもたらす重厚な書風で臨書出来たか。 【思考力、判断力、表現力】 半紙サイズにバランス良く表現出来たか。	○	○		6
	単元「漢字の書」（楷書） 【知識及び技能】 唐の四大家の作品から一つ選び臨書する。 【思考力、判断力、表現力】 半紙サイズに臨書作品を制作する。	・半紙サイズと半切2分の1サイズでは何に配慮して作品を制作するべきか。 ・教科書		○		○	【知識及び技能】 作品についての基礎知識が理解出来たか。 選んだ作品の特徴的筆法を理解し、臨書作品を制作出来たか。 【思考力、判断力、表現力】 半切2分の1サイズサイズにバランス良く表現出来たか。	○	○	○	14

後期	単元「漢字の書」（楷書） 【知識及び技能】 『牛橛造像記』の筆法・書風を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力】 半紙サイズに漢字2字を表現する。	・『牛橛造像記』の制作背景 ・臨書「妙楽」 ・教科書・ワークシート		○			【知識及び技能】 作品についての基礎知識が理解出来たか。 方勢がもたらす造像記特有の力強い筆法・書風で臨書出来たか。 【思考力、判断力、表現力】 半紙サイズにバランス良く表現出来たか。	○	○		4
	単元「漢字の書」（楷書） 【知識及び技能】 『鄭義下碑』の筆法・書風を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力】 半紙サイズに漢字2字を表現する。	・『鄭義下碑』の制作背景 ・臨書「桓武」 ・教科書・ワークシート		○		○	知識及び技能】 作品についての基礎知識が理解出来たか。 摩崖碑特有の素朴な円勢の筆法・書風で臨書出来たか。 【思考力、判断力、表現力】 半紙サイズにバランス良く表現出来たか。	○	○		4
	単元「漢字の書」（行書） 【知識及び技能】 『蘭亭序』の筆法・書風を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力】 半紙サイズに漢字2字を表現する。	・『蘭亭序』の制作背景 ・臨書「清風」その他 ・教科書・ワークシート		○		○	【知識及び技能】 作品についての基礎知識が理解出来たか。 筆脈に沿って、流れの有る行書特有の線の中に緩急・抑揚などの表現を理解し、臨書出来たか。 【思考力、判断力、表現力】 半紙サイズにバランス良く表現出来たか。	○	○		6
	単元「漢字の書」（行書） 【知識及び技能】 『風信帖』の筆法・書風を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力】 半紙サイズに漢字2字を表現する。	・『風信帖』の制作背景 ・臨書「恵風」 ・教科書・ワークシート		○		○	【知識及び技能】 作品についての基礎知識が理解出来たか。 筆脈に沿って流れの有る行書体の中に、安定したバランスと重厚感ある用筆を理解し、臨書出来たか。 【思考力、判断力、表現力】 半紙サイズにバランス良く表現出来たか。	○	○		4
	単元「仮名の書」 【知識及び技能】 仮名の成立と種類について学ぶ。 平仮名（単体）を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力】 半紙サイズに平仮名48字を書く。	・平仮名の字母を理解し、48字を学ぶ。 ・教科書・ワークシート		○		○	【知識及び技能】 仮名についての基礎知識が理解出来たか。 平仮名48字が正しく書くことが出来るか。	○	○		8
	単元「仮名の書」 【知識及び技能】 平仮名（単体）を学ぶ。 平仮名（連綿）及び変体仮名を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力】 半紙サイズに平仮名48字を書く。 半紙サイズに古典作品『蓬莱切』を臨書する。	・平仮名の字母を理解し、48字を学ぶ。 ・平仮名（連綿）、変体仮名を学ぶ。 ・古典作品『蓬莱切』『高野切第三種』を臨書。 ・教科書・ワークシート			○		【知識及び技能】 仮名についての基礎知識が理解出来たか。 平仮名48字が正しく書くことが出来るか。 平仮名（連綿）変体仮名を理解出来たか。 【思考力、判断力、表現力】 半紙サイズに『蓬莱切』をバランス良く臨書出来たか。	○	○		6
	単元「漢字仮名交じりの書」 【知識及び技能】 漢字仮名交じりの書とは。 【思考力、判断力、表現力】 自分の心に響く言葉を選び、表現する。	・教科書に紹介された「漢字仮名交じりの書」などを鑑賞する。 ・選んだ言葉を自分のイメージに沿って表現するための素材を集める。 ・構成を考える。 ・教科書・ワークシート	○	○	○	○	知識及び技能】【思考力、判断力、表現力】 【学びに向かう力、人間性等】 これまでの「漢字の書」（楷書・行書）と「仮名の書」を通して学んだ『書の美』を意図する構成に従って、バランス良く適切に表現出来たか。	○	○	○	8 合計 78

年間授業計画　新様式

東京都立世田谷泉　　高等学校　令和６年度　教科：芸術　　科目：彫金

教　科：　芸術　　科　目：　彫金　　単位数：　2　単位

対象年次・講座：第１ 年次　　Ⅰ部：① ２～４年次　Ⅱ部：②２～４年次 Ⅲ部：③2～4年次

教科担当者：①吉田美幸　　②村上奈月　③安部貴住

使用教科書：（ 美術２（光村図書）　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目　彫金　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かにに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
前期	表現／鑑賞　鋳造のシルバーリング制作 【知識及び技能】ワックスの性質や道具の扱い方を理解し表現させる【思考力、判断力、表現力等】主題にあった構想を練り、それを基にデザイン案を描かせる【学びに向かう力、人間性等】授業を振り返り、課題と成果をみつけて粘り強く取り組ませ計画的な学習計画をたてさせる	【指導項目】イメージを膨らませ、アイディアを構想させる。ワックスの性質を生かして指輪をデザインする。 【教材】アイディアスケッチ用紙、三面図、指輪用ワックス、サイズゲージ、スパチュラ 【一人一台端末の活用】制作工程を記録し、振り返る。		○		○	【知識・技能 】ワックスの性質や道具の扱い方を理解し表現できている 【思考・判断・表現】主題にあった構想を練り、それを基にデザイン案を描いている 【主体的に学習に取り組む態度】授業を振り返り、課題と成果をみつけて計画的な学習計画をたてている	○	○	○	24
	表現／鑑賞　ロウ付けの指輪製作 【知識及び技能】ロウ付けの技法や道具の扱い方を理解し表現させる。 【思考力、判断力、表現力等】個性豊かな発想や表現の工夫について考える。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に使う人の思いや願いなどから見方や感じ方を深める創造的な活動に取り組ませる。	【指導項目】自分の指輪のサイズを計測し、必要な材料の長さを計算する。金属をなます方法を体得する。 【教材】銀平角線・定規・棒やすり・フラックス・銀ろう 【一人一台端末の活用】制作工程を記録し、振り返る。	○			○	【知識・技能 】金属材料や道具の扱い方を理解し表現できている。 【思考・判断・表現】主題にあった構想を練り、それを基に工程を実践する。 【主体的に学習に取り組む態度】授業を振り返り、課題と成果をみつけて計画的な学習計画をたてている。	○	○	○	14
後期	表現／鑑賞　カトラリー製作 【知識及び技能】金属材料や道具のの扱い方を理解し表現させる。 【思考力、判断力、表現力等】言葉から様々なイメージを構想し、それを基に作品を制作する。 【学びに向かう力、人間性等】授業を振り返り、課題と成果をみつけて計画的な学習計画をたてさせる。	【指導項目】デザイン、転写、金属切り抜き、成形、刻印、なまし、ロウ付け、やすり掛け、磨き 【教材】真鍮板材・銀板材・糸鋸・棒やすり・作業台・けがき・ガスバーナー・銀ろう・フラックス 【一人一台端末の活用】制作工程を記録する	○			○	【知識・技能 】金属材料や道具の扱い方を理解し表現できている。 【思考・判断・表現】様々なイメージを構想し、それを活かした作品を制作し、作業程順を守って制作している。 【主体的に学習に取り組む態度】授業を振り返り、課題と成果をみつけて計画的な学習計画をたてている。	○	○	○	26
	表現／鑑賞　七宝焼きのブローチ 【知識及び技能】七宝材料や道具の扱い方を理解し、表現に活かす。 【思考力、判断力、表現力等】イメージを構想し、具体的なデザインや形態にする。 【学びに向かう力、人間性等】授業を振り返り、課題と成果をみつけて計画的な学習計画をたてさせる。	【指導項目】銅板の加工、裏引き、表引き、銀泊張、施釉、焼成 【教材】銅板・裏引き絵の具・銀箔・七宝絵の具・銀線 【一人一台端末の活用】制作工程を記録し、振り返る。	○			○	【知識・技能 】七宝焼き技法の特性を理解し表現している。 【思考・判断・表現】様々なイメージを構想し、それを生かした作品を作業手順を守って制作している。 【主体的に学習に取り組む態度】授業を振り返り、課題と成果をみつけて計画的な学習計画をたてている。	○	○	○	14
											合計 78

年間授業計画　新様式

東京都立世田谷泉　高等学校　令和６年度　教科：美術　　科目：発展デザイン

教　科：美術　　科　目：発展デザイン　　単位数：　2　単位

対象年次・講座：　１～４　年次　① ② ③

教科担当者：①村上　奈月　②豊浦　愛　③豊浦　愛

使用教科書：（ 無し　　）

教科　美術　　の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解すると共に、意図に基づいて表現するための技能を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることが出来る。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目　発展デザイン　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
表現の目的やコンセプトを自分で考え、材料や用具の特性を理解し、制作の手順を考え、構想のイメージを的確に表現出来ている。	デザインの機能や効果、デザインを受け取る側のこと想像し、創造的な表現の構想を練ることが出来ている。	飾る、伝える、使う等のデザインの目的や条件、美しさを考え、主題を生成して取り組んでいる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			知	技	発						
前期	表現/鑑賞「オリジナルラインスタンプ」【知識及び技能】実際に使われているラインスタンプを調べ、アイディアを考え構想する。【思考力、判断力、表現力等】相手と楽しくコミニケーションをとれるスタンプをイメージし、イラストとして表現する。【学びに向かう力、人間性等】客観的な視点を持ち、主題を生成する。	【指導事項】ターゲットユーザーを構想し、楽しくコミニケーションをとれるスタンプを考えデザインする。 【教材】プリント、ワークシート、ペン、BYOD端末 【一人１台端末の活用】 実際に使われているラインスタンプを調べ、観察し、ターゲットユーザーや作品の魅力について考察する。		○	○	○	【知識・技能】実際に使われているスタンプを鑑賞し、魅力やターゲットユーザーについて考える。【思考力・判断力・表現力等】ターゲットユーザーを想定し、主題を生成しスタンプとして表現する。【主体的に学習に取り組む態度】鑑賞や制作に意欲的に取り組む。	○	○	○	8
	表現/鑑賞「色相をもとにした配色」【知識及び技能】ト色彩配色の基礎を学び、配色について理解を深める。【思考力、判断力、表現力等】お店の設定を自分自身で考え、配色や書体、形を使い主題を表現する。【学びに向かう力、人間性等】主体的に制作に取り組む。	【指導事項】色彩の基礎基本を確認し、色相をもとにした配色の考え方や方法を学ぶ【教材】ワークシート、筆記用具、配色カード、BYOD端末 【一人一台端末の活用】色彩の成り立ちや、種類、基本的な知識を端末を利用して学ぶ。	○		○	○	【知識・技能】色彩配色について理解し、制作にいかす。【思考力・判断力・表現力等】お店のコンセプトに合った配色や構図、形を考え表現する。【主体的に学習に取り組む態度】鑑賞や制作に意欲的に取り組む。	○	○	○	4
	表現/鑑賞「ロゴデザイン」【知識及び技能】ト色彩配色の基礎を学び、配色について理解を深める。【思考力、判断力、表現力等】お店の設定を自分自身で考え、配色や書体、形を使い主題を表現する。【学びに向かう力、人間性等】主体的に制作に取り組む。	【指導事項】「いずみ」というお店を自分で設定し、アクリル絵の具でロゴデザインとをデザインする。 【教材】プリント、ワークシート、アクリル絵具、筆、BYOD端末 【一人一台端末の活用】色彩の成り立ちや、種類、基本的な知識を端末を利用して学ぶ。	○	○	○		【知識・技能】色彩配色について理解し、制作にいかす。【思考力・判断力・表現力等】お店のコンセプトに合った配色や構図、形を考え表現する。【主体的に学習に取り組む態度】鑑賞や制作に意欲的に取り組む。	○	○	○	22
後期	表現/鑑賞「椅子デザイナー」【知識及び技能】ト色彩配色の基礎を学び、配色について理解を深める。【思考力、判断力、表現力等】お店の設定を自分自身で考え、配色や書体、形を使い主題を表現する。【学びに向かう力、人間性等】主体的に制作に取り組む。	【指導事項】依頼者からオーダーを受けて、企画書を制作し椅子の座り心地や美しさ、構造を考えデザインする。 【教材】プリント、ワークシート、粘土、BYOD端末 【一人一台端末の活用】制作した作品を撮影し、ワークシートにまとめ、企画書を作成する。	○	○	○	○	【知識・技能】椅子の歴史について理解し、制作に生かす。【思考力・判断力・表現力等】オーダーにからコンセプトを創出し、座り心地や美しさ、構造を立体的に考え表現する。【主体的に学習に取り組む態度】鑑賞や制作に意欲的に取り組む。	○	○	○	24
	表現/鑑賞「音楽のアートワーク」【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】現代の生活にデザイン分野がどのように必要とされているか考察する。【学びに向かう力、人間性等】自身が生きる現代の日本について、デザインの観点から興味を抱く。	【指導事項】好きな楽曲を選択し、歌詞やアーティストの個性が反映されたCDジャケットをデザインする。 【教材】プリント、ワークシート、ペン、BYOD端末 【一人一台端末の活用】歌詞やアーティストについて調べる。		○	○	○	【知識・技能】配色や構図、イラストをコンセプトに合わせて考える。【思考力・判断力・表現力等】楽曲の歌詞やアーティストの個性からコンセプトを導き出し、表現する。【主体的に学習に取り組む態度】鑑賞や制作に意欲的に取り組む。	○	○	○	20
										合計	78

年間授業計画　新様式

東京都立世田谷泉　　高等学校　　令和 6　　芸術　　科目：美術Ⅱ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象年次・講座：第 年次　　Ⅰ部：①　２～４年次　Ⅱ部：②２～４年次　Ⅲ部：③2～4年次

教科担当者：①安部貴住　　②　　③

使用教科書：（ 美術２（光村図書）　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】　芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目　美術Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かにに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
前期	表現／鑑賞　絵画：りんごの絵画制作 **【知識及び技能】**アクリル絵の具の技法や道具の扱い方を理解し表現させる**【思考力、判断力、表現力等】**主題にあった構想を練り、それを基に自画像の下絵を描かせる**【学びに向かう力、人間性等】**授業を振り返り、課題と成果をみつけて粘り強く取り組ませ計画的な学習計画をたてさせる	【指導項目】【教材】色やタッチにより相手に伝える印象を考えさせ、アイディアを構想させる。下絵と本番の絵画へと段階的に制作を進める内容を修得する。 【一人一台端末の活用】 絵画の鑑賞等で色彩についての調べ学習。	○			○	**【知識・技能 】**アクリル絵の具の技法や道具の扱い方を理解し表現できている **【思考・判断・表現】**主題にあった構想を練り、それを基に着彩を行っている。 **【主体的に学習に取り組む態度】**授業を振り返り、課題と成果をみつけて粘り強く取り組ませ計画的な学習計画をたてている	○	○	○	20
	表現／鑑賞　絵画：顔のない自画像制作 **【知識及び技能】**端末や図書館に赴き興味関心のあるものについて調べ、スケッチを行う。**【思考力、判断力、表現力等】**主題にあった構想を練り、それを基に自画像を描かせる**【学びに向かう力、人間性等】**授業を振り返り、課題と成果をみつけて粘り強く取り組ませ計画的な学習計画をたてさせる	【指導項目】【教材】端末や図書館に赴き興味関心のあるものについて調べ、スケッチを行う。アクリル絵の具を使い、B3サイズの自画像を描く。 【一人一台端末の活用】 興味関心のあるモチーフを探す。	○			○	**【知識・技能 】**絵巻物や道具の扱い方を理解し表現できている **【思考・判断・表現】**主題にあった構想を練り、それを基に自画像を描いている **【主体的に学習に取り組む態度】**授業を振り返り、課題と成果をみつけて粘り強く取り組ませ計画的な学習計画をたてている	○	○	○	20
後期	表現／鑑賞　彫刻：車輪の付いた動物 **【知識及び技能】**ケント紙の扱い方や様々な彫刻作品を理解し表現させる**【思考力、判断力、表現力等】**言葉から様々なイメージを構想し、それを基に立体作品を制作する**【学びに向かう力、人間性等】**授業を振り返り、課題と成果をみつけて粘り強く取り組ませ計画的な学習計画をたてさせる	【指導項目】【教材】動物図鑑等からイメージを膨らませ、ケント紙で抽象形態の立体を作成させる 【一人一台端末の活用】 作成した立体物を様々な角度がら写真を撮らせ、イメージする形態に近づくように制作させる	○			○	**【知識・技能 】**ケント紙の扱い方や様々な彫刻作品を理解し表現できている **【思考・判断・表現】**言葉から様々なイメージを構想し、それを基に立体作品を制作している **【主体的に学習に取り組む態度】**授業を振り返り、課題と成果をみつけて粘り強く取り組ませ計画的な学習計画をたてている	○	○	○	20
	表現／鑑賞　絵画：絵本の制作 **【知識及び技能】**様々な絵本の表現を理解し表現させる**【思考力、判断力、表現力等】**絵本の多様な画風を会得し、それを基に絵本を描かせる**【学びに向かう力、人間性等】**授業を振り返り、課題と成果をみつけて粘り強く取り組ませ計画的な学習計画をたてさせる	【指導項目】【教材】既存の絵本の作者、画風を調べる、その画風を応用し自分自身の自画像を描かせる 【一人一台端末の活用】 既存の絵本の作者、画風などについて調べさせ、パワーポイント等にまとめさせ、発表しクラスで共有する	○			○	**【知識・技能 】**】様々な絵本の表現を理解し表現している **【思考・判断・表現】**絵本の画風を会得し、それを基に自画像を描いている **【主体的に学習に取り組む態度】**授業を振り返り、課題と成果をみつけて粘り強く取り組ませ計画的な学習計画をたてている	○	○	○	18
										合計	78

年間授業計画　新様式

東京都立世田谷泉　高等学校　令和６年度　教科：　芸術　　科目：デッサン

教　科：　芸術　　科　目：　デッサン　　単位数：　2　単位

対象年次・講座：　１～４　年次　① ② ③

教科担当者：①山岸　稜　　②金子　朋加　③山岸　稜

使用教科書：（ なし　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　芸術に関する各科目の特質について理解すると共に、意図に基づいて表現するための技能を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることが出来る。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目　デッサン　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
表現材料の特性を生かせるよう理解を深めると共に、対象を深く観察したことを基に表現を工夫して的確に表すことが出来る。	深い観察を通して、対象のイメージや空間を把握し、美しさを発見し、その形体や色彩、材質感などの表現が出来る。	主体的に対象を見つめ考察を深めたり、表現材料などを研究し取り入れたりするなど、造形表現を追求している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 知	表現 技	表現 発	鑑賞	評価規準	知	思	態	時数配当
前期	表現「幾何形体デッサン」鉛筆デッサン【知識及び技能】デッサンの姿勢や用具の使用方法を学び描画方法の理解を深める。【思考力、判断力、表現力等】観察を通して形体の理解を深め、創造的に構想する。【学びに向かう力、人間性等】鉛筆の特性を知り、主体的に制作に取り組む。	【指導事項】幾何形体デッサンを通してデッサンの基本的な考え方、描き方、道具の使用方法について学ぶ。 【教材】プリント、画用紙、鉛筆デッサン用具、BYOD端末 【一人１台端末の活用】基本的なデッサン用語や鉛筆の削り方などを映像を視聴して理解する。	○	○			【知識・技能】描画方法について知る。鉛筆デッサンについて知る。【思考力・判断力・表現力等】鉛筆の特性を知り、対象の形態を理解する。【学びに向かう力・人間性等】休まずに授業に出席し、基礎的な知識の理解を深める。	○	○	○	10
	表現/鑑賞「グレースケール」鉛筆【知識及び技能】面や明度を理解し、鉛筆を用いてグラデーションを描く。【思考力、判断力、表現力】表現の意図を理解し、特質を理解して描画する。【学びに向かう力、人間性等】描画方法を理解し、作品制作に主体的に取り組む。	【指導事項】グレースケールを通して光源の描き方、道具の使用方法について学ぶ。 【教材】画用紙、面取り石膏像プリント、鉛筆デッサン用具、BYOD端末 【一人１台端末の活用】共有画像を基にグラデーションと色彩の関係を理解する。	○	○			【知識・技能】グレースケールについて知る。鉛筆の描画方法について知る。【思考力・判断力・表現力等】物質の特性を知り、明度表現を理解する。【学びに向かう力・人間性等】表現の意図を理解し、造形表現を追求する。	○	○	○	8
	表現/鑑賞「石膏デッサン」木炭【知識及び技能】木炭の特性を理解し、深く観察して対象を描く。【思考力、判断力、表現力】表現方法を理解し、特質を理解して描画する。【学びに向かう力、人間性等】描画方法を理解し、主題を生成し、作品制作に主体的に取り組む。	【指導事項】木炭デッサンを通して石膏像の描き方、道具の使用方法について学ぶ。石膏デッサンから造形的美しさを理解し、表現する。 【教材】石膏像、木炭紙、木炭デッサン用具、BYOD端末 【一人１台端末の活用】共有画像を基に石膏像の歴史と素描表現の関係を理解する。作品制作記録。		○		○	【知識・技能】石膏像について知る。木炭の描画方法について知る。【思考力・判断力・表現力等】木炭デッサンの特性を知り、素材に合わせた表現方法を工夫する。【学びに向かう力・人間性等】主体的に対象を見つめ、考察を深める。	○	○	○	20

後期	表現/鑑賞「静物デッサン」鉛筆【知識及び技能】静物モチーフを通して、空間を表現する。【思考力、判断力、表現力】静物モチーフの特性を理解し、イメージを表現する。【学びに向かう力、人間性等】表現材料を工夫し、個性を生かしながら表現に取り組む。	【指導事項】静物デッサンを通して空間表現の描き方、形態の成り立ちについて学ぶ。身近なモチーフから造形的美しさを理解し、表現する。 【教材】静物モチーフ、画用紙、鉛筆デッサン用具、BYOD端末 【一人１台端末の活用】静物デッサンの資料の解説。作品制作記録。		○	○		【知識・技能】身近なモチーフの形態について知り、表現に生かしている。【思考力・判断力・表現力等】静物デッサンの特性を知り、素材に合わせた表現方法を工夫している。【学びに向かう力・人間性等】主体的に対象を見つめ、造形的感覚を高めている。	○	○	○	22
	表現/鑑賞「校舎デッサン」木炭。鉛筆【知識及び技能】建築物の構造を深く観察して理解する。【思考力、判断力、表現力】表現方法を工夫し、表現材料の特質を理解して描画する。 【学びに向かう力、人間性等】描画方法を理解し、主題を生成し、作品制作に主体的に取り組む。	【指導事項】校舎に対して造形的な視点をって観察し、造形的美しさや空間描写を表現する。 【教材】画用紙、木炭紙、デッサン用具、BYOD端末 【一人１台端末の活用】描画する場所を撮影し、端末で共有。作品制作記録。			○	○	【知識・技能】素描に適した表現材料の特性を生かせるよう理解を深めている。【思考力・判断力・表現力等】校舎のイメージや空間を素材に合わせた表現方法で描画する。 【学びに向かう力・人間性等】主体的に対象を見つめ、表現材料などに対して造形表現を追及している。	○	○	○	18
											合計 78

年間授業計画　新様式

東京都立世田谷泉　　高等学校　令和６年度　教科：　芸術　　科目：メディア表現

教　科：芸術　　科　目：　メディア表現　　単位数：　2　単位

対象年次・講座：　１～４　　年次　①②③④

教科担当者：①村上　奈月　　②福岡　里子　③福岡　里子

使用教科書：（ 無し　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】　芸術に関する各科目の特質について理解すると共に、意図に基づいて表現するための技能を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることが出来る。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目　メディア表現　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
様々なメディアにおける知識や特性を理解し、制作の手順を考え、構想のイメージを的確に表現出来ている。	メディアを利用した表現の面白さや制作意図について考えるとともに、メディア文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	メディアを利用した文化について深く考え、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 知	表現 技	表現 発	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	鑑賞「アニメーションの成り立ち」【知識及び技能】アニメーションの原理や成り立ち、最新の技術までの歴史を学ぶ。【思考力、判断力、表現力等】様々なアニメーションの技法を鑑賞しアニメーションの面白さや制作意図を考える。【学びに向かう力、人間性等】アニメーションについて深く考え、主体的に学ぼうとする。	【指導事項】アニメーションが動いて見える原理「仮現運動」について理解し、アニメーション文化の発祥から現代までの歴史を学ぶ。 【教材】プリント、ワークシート、プロジェクター	○			○	【知識・技能】アニメーションの原理と歴史を理解する。【思考力・判断力・表現力等】アニメーション技法や特性、奥深さを味わう。【主体的に学習に取り組む態度】講義に意欲的に取り組む。	○		○	10
前期	表現/鑑賞「視覚玩具を作ろう」【知識及び技能】「残像」や「仮現運動」を体験的に理解する【思考力、判断力、表現力等】絵がどのように動くか考え動画を作る。【学びに向かう力、人間性等】主題を自分で生成し、主体的に表現する。	【指導事項】「残像」と「仮現運動」を利用したおもちゃソーマトロープとゾートロープを作る。 【教材】プリント、ワークシート、ペン、色鉛筆。たこ糸、輪ゴム、黒画用紙 【一人１台端末の活用】 資料を探す。完成した作品を写真に収める。		○	○	○	【知識・技能】ソーマトロープやゾートロープの作り方を理解し制作する。【思考力・判断力・表現力等】どのような絵を動かすか想像し、創意工夫して表現する【主体的に学習に取り組む態度】制作に意欲的に取り組む。	○	○	○	10
前期	表現/鑑賞「切り紙アニメーションを作ろう」【知識及び技能】ストップモーションの技法を理解し創意工夫して制作する。【思考力、判断力、表現力】制作過程を想像し、計画的に制作を行う。【学びに向かう力、人間性】主題を自分で生成し、主体的に表現する。	【指導事項】画用紙を使ってストップモーションアニメーションを制作する。 【教材】プリント、ワークシート、画用紙、はさみ、ペン、色鉛筆コンパクトカメラ 【一人１台端末の活用】資料を探す。完成した作品のデータを保存する。	○	○	○	○	【知識・技能】ストップモーションの技法や材料の特性を理解し制作に取り組んでいる。【思考力・判断力・表現力等】どのような作品を作りたいか想像し、制作から完成までのイメージを持つ。【主体的に学習に取り組む態度】鑑賞や制作に意欲的に取り組む。	○	○	○	14
前期											
後期	表現/鑑賞「写真表現」スタジオ撮影【知識及び技能】写真の基礎基本を学びライティング、機材の使い方を理解する。【思考力、判断力、表現力等】主題となるモチーフがどのように映るか想像し、撮影する。【学びに向かう力、人間性等】主体的に鑑賞や撮影に取り組む。	【指導事項】写真家の市民講師の指導のもと、スタジオ撮影（物・人）を行う。【教材】一眼レフカメラ、フィルムカメラ、スタジオ機材、プリント、SDカード、BYOD端末 【一人一台端末の活用】撮影終了後、作品をデータとして保存する。	○	○	○	○	【知識・技能】写真の基礎基本（絞り、シャッタースピード）、ライティング技法を理解する【思考力・判断力・表現力等】主題をどのように撮影したいか考え撮影する。【主体的に学習に取り組む態度】鑑賞や制作に意欲的に取り組む。協調性を持ってグループワークに取り組む。	○	○	○	8
後期	表現/鑑賞「配置とバランス」フォトブック【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】現代の生活にデザイン分野がどのように必要とされているか考察する。【学びに向かう力、人間性等】自身が生きる現代の日本について、デザインの観点から興味を抱く。	【指導事項】配置とバランスによって画面構成について学び、「私と〇〇」をテーマにオリジナルのフォトブックを制作する。 【教材】プリント、ワークシート、ペン、SDカード、BYOD端末、コンパクトカメラ、プリンター 【一人一台端末の活用】写真を撮り、印刷、データを整理する	○	○	○	○	【知識・技能】配置やバランスの工夫によって仕方によって表現がどのように変化するかを理解する。【思考力・判断力・表現力等】テーマに合わせて写真を選抜、印刷し、1冊の本として表現する。【主体的に学習に取り組む態度】鑑賞や制作に意欲的に取り組む。	○	○	○	14
後期	表現「写真表現」校内撮影【知識及び技能】写真の基礎基本を学びライティング、機材の使い方を理解する。【思考力、判断力、表現力等】主題となるモチーフがどのように映るか想像し、撮影する。【学びに向かう力、人間性等】主体的に鑑賞や撮影に取り組む。	【指導事項】写真家の市民講師の指導のもと、フィルムカメラで校内スナップを撮影する（物・人）を行う。【教材】フィルムカメラ、フィルム、プリント	○	○	○		【知識・技能】フィルムカメラの操作方法を理解し撮影する。【思考力・判断力・表現力等】自分の気になった場所や人をどのように切り取るか想像し、シャッターを切る。【主体的に学習に取り組む態度】撮影に意欲的に取り組む。	○	○	○	8
後期	表現/鑑賞「写真表現」引き伸ばし作業【知識及び技能】暗室機材の使い方をや現像手順を理解する【思考力、判断力、表現力等】自分の気に入った作品を選抜し、表現に合わせて引き伸ばす。【学びに向かう力、人間性等】主体的に現像作業や鑑賞に取り組む。	【指導事項】写真家の市民講師の指導のもと、前回撮影した写真を暗室で引き伸ばす。【教材】暗室機材、印画紙、現像液、エプロン	○	○	○	○	【知識・技能】暗室機材の使い方、作業手順を理解する【思考力・判断力・表現力等】自分の気いったネガを選び、調度よい濃さに現像する。【主体的に学習に取り組む態度】引き伸ばし作業に意欲的に取り組む。他者の作品を鑑賞し、様々な表現があることを知る。	○	○	○	14 合計 78

年間授業計画　新様式

東京都立世田谷泉　　高等学校　　令和６年度　教科：　芸術　　科目：音楽Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　音楽Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象年次・講座：　1～４　　年次　①②③④

教科担当者：①上川貴大　　②田中光　　③城戸賀代　④

使用教科書：（ Tutti＋　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】　芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　音楽Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景等との関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受したことの関わりについて考え、どのように表すかについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	・音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			歌	器	創						
前期	A 未知なる音楽の世界を求めて 【知識及び技能】 基本的な姿勢や呼吸等の身体の使い方を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 曲の雰囲気を感じながら自己のイメージをもって歌う。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱活動に取り組む。	・オリエンテーション ・校歌 ・歌声づくりのエクササイズ ・J-POP「君に届くまで」 「優しい子」 ・８声のカノン ・季節の歌　等	○				【知識及び技能】 基本的な姿勢や呼吸等の身体の使い方を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 曲の雰囲気を感受しながら、自己のイメージをもって歌っている。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	B ギターでメロディーを弾こう 【知識及び技能】 ギターの奏法や特徴について知る 【思考力、判断力、表現力等】 タブ譜を見て演奏し、曲のイメージをもって演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】 演奏を楽しみながら主体的に練習に取り組もうとする。	○ギター ・音階、メロディー演奏 ・色々なギター奏法について		○		○	【知識及び技能】 ギターの奏法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分でタブ譜を見て演奏し、イメージをもって演奏しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 演奏を楽しみながら主体的に活動しようとしている。	○	○	○	8
	C 日本歌曲を歌おう 【知識及び技能】 音楽の構造や歌詞との関わりについて理解しようとする。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、曲の雰囲気を感受して歌おうとする。 【学びに向かう力、人間性等】 日本語の抑揚と旋律の流れの関係に関心をもち、取り組む。	○日本の歌曲 「この道」「椰子の実」	○			○	【知識及び技能】 音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、曲の雰囲気を感受して歌おうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 日本語の抑揚と旋律の流れの関係に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6

	D 西洋音楽の源流を耳でたどろう 【知識及び技能】 音楽の構造や音階の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解しようとする。 【思考力、判断力、表現力等】 旋法の特質や雰囲気を感受して、音楽のよさを味わうと共に旋律を作る。 【学びに向かう力、人間性等】 中世からルネッサンスの音楽の文化・歴史的背景に関心をもち、主体的に鑑賞や創作に取り組もうとする。	○西洋音楽の源流 ・色々な音階 ・旋法を使った創作 ・西洋音楽史	○		○	○	【知識及び技能】 音楽の構造や音階の特徴、歴史的背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 旋法の特質や雰囲気を感受して、創作をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 中世からルネッサンスの音楽の文化・歴史的背景に関心をもって、主体的に鑑賞や創作に取り組んでいる。	○	○	○	4

	E イタリアの民謡や歌曲 【知識及び技能】 言葉の特性に応じた発声や表現上の効果について理解しようとする。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、その特質や雰囲気を感受しながらイメージをもって歌おうとする。 【学びに向かう力、人間性等】 イタリア語の言葉の特性や表情豊かに歌うことに関心をもち、主体的に歌唱に取り組もうとする。	○イタリア語の歌 ・カンツォーネ 「我が太陽」「Santa Lucia」 「Caro mio ben」	○			○	【知識及び技能】 言葉の特性に応じた発声や表現上の効果について理解しようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、その特質や雰囲気を感受しながらイメージをもって歌おうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 イタリア語の言葉の特性や表情豊かに歌うことに関心をもち、主体的に歌唱に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	F 物語と音楽との関わりに注目しよう 【知識及び技能】 オペラ等の総合芸術の特性や歴史的背景について知ろうとする。 【思考力、判断力、表現力等】 歌い方の特徴や雰囲気を感受しながら曲全体の中でどのような役割をしているかイメージをもって鑑賞しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているのか、主体的に取り組もうとする。	○西洋の総合芸術 ・オペラ「魔笛」または ミュージカル				○	【知識及び技能】 オペラ等の総合芸術の特性や歴史的背景について知ろうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 歌い方の特徴や雰囲気を感受しながら曲全体の中でどのような役割をしているかイメージをもって鑑賞しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているのか、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	G リズムを体で表現しよう 【知識及び技能】 様々なリズムの表現の仕方を知り、拍子に合わせて表現しようとする。 【思考力、判断力、表現力等】 リズム、速度、強弱等を知覚し、全体のバランスを考えて表現しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 体の様々な部位を使って音色や構成を工夫して創作し、協力して演奏する。	○リズムを楽しむ ・テーブル・ミュージック ・ボディーパーカッション 「Wind from the south」	○		○		【知識及び技能】 様々なリズムの表現の仕方を知り、拍子に合わせて表現しようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 リズム、速度、強弱等を知覚し、全体のバランスを考えて表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 体の様々なb部位を使って音色や構成を工夫して創作し、協力して演奏している。	○	○	○	4
	H 古の音楽に思いをはせよう 【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解しようとする。 【思考力、判断力、表現力等】 雅楽の特質や雰囲気を感受しながら、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴こうとする。 【学びに向かう力、人間性等】 雅楽の楽器の音色や奏法、楽器の構造、管弦の響きに関心をもち、主体的に取り組もうとする。	○日本の音楽 ・雅楽　他				○	【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 雅楽の特質や雰囲気を感受しながら、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴こうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 雅楽の楽器の音色や奏法、楽器の構造、管弦の響きに関心をもち、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	I ドイツ歌曲の魅力 【知識及び技能】 言葉の特性に応じた発声や表現上の効果について理解しようとする。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、その特質や雰囲気を感受しながらイメージをもって歌おうとする。 【学びに向かう力、人間性等】 ドイツ語の言葉の特性や表情豊かに歌うことに関心をもち、主体的に歌唱に取り組もうとする。	○ドイツ歌曲 ・２つの「野ばら」 ・西洋音楽史	○			○	【知識及び技能】 言葉の特性に応じた発声や表現上の効果について理解しようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、その特質や雰囲気を感受しながらイメージをもって歌おうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ドイツ語の言葉の特性や表情豊かに歌うことに関心をもち、主体的に歌唱に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	J ギターで弾き語りをしよう 【知識及び技能】 コードについて知り、左指の位置を覚える。 【思考力、判断力、表現力等】 曲のイメージをもち、拍子にのった演奏をする。 【学びに向かう力、人間性等】 コード演奏を楽しみながら弾き語りをする。	○ギター ・コードについて ・コード演奏 ・弾き語り		○		○	【知識及び技能】 コードについて理解し、左指でコードを押さえることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 メロディーにのって、コードを演奏をしている。また、強弱やリズム等、曲想を考えて演奏している。 【学びに向かう力、人間性等】 コード演奏を楽しみながら主体的に練習し、弾き語りをしようとしている。	○	○	○	8

後期	K オーケストラ魅力 【知識及び技能】 曲想や表現上の効果と音楽の楮言うとの関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、強弱、構成等を知覚し、特質や雰囲気を感受し、音楽のよさや美しさを味わって聴こうとする。 【学びに向かう力、人間性等】 オーケストラの様々な楽器の音色や響き、ボレロのリズムの繰り返しや２つの旋律の組み合わせの効果に関心をもち、主体的に取り組もうとする。	○オーケストラの曲 ・バレエ音楽「ボレロ」等				○	【知識及び技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、強弱、構成等を知覚し、特質や雰囲気を感受し、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 オーケストラの様々な楽器の音色や響き、ボレロのリズムの繰り返しや２つの旋律の組み合わせの効果に関心をもち、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	3
	L ピアノの歩みとその音楽 【知識及び技能】 時代と共に変化したピアノの特徴やピアノ曲との関係についてついて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲の雰囲気を感受しながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴こうとする。 【学びに向かう力、人間性等】 時代と共に変化したピアノに応じてピアノ曲の可能性も広がったことに関心をもち、主体的に取り組もうとする。	○さまざまな時代のピアノ曲 ・ピアノの歴史 ・西洋音楽史				○	【知識及び技能】 時代と共に変化したピアノの特徴やピアノ曲との関係についてついて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 曲の雰囲気を感受しながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 時代と共に変化したピアノに応じてピアノ曲の可能性も広がったことに関心をもち、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	3
	M 混声合唱を美しく響かせよう 【知識及び技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。また、他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴を生かして歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 曲の特質や雰囲気を感受しながら、イメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもとうとする。 【学びに向かう力、人間性等】 他者との調和を意識して歌うことや、曲想や歌詞への内容を理解しながら歌唱表現を創意工夫することに関心をもち主体的に取り組もうとする。	○混声合唱 ・「南海譜」他	○			○	【知識及び技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。また、他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴を生かして歌っている。 【思考力、判断力、表現力等】 曲の特質や雰囲気を感受しながら、イメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 他者との調和を意識して歌うことや、曲想や歌詞への内容を理解しながら歌唱表現を創意工夫することに関心をもち主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	N 総合芸術における音楽の魅力 【知識及び技能】 日本の伝統芸能の特徴について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の総合芸術特有の表現の仕方を感受し、イメージをもって鑑賞しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】 物語や言葉と音楽の関わりや他の文化が互いにどのように影響をしあって発展してきたかに関心をもち、主体的に取り組もうとする。	○日本の総合芸術 ・歌舞伎「勧進帳」または 文楽「国姓爺合戦」				○	【知識及び技能】 日本の伝統芸能の特徴について知ろうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の総合芸術特有の表現の仕方を感受し、イメージをもって鑑賞しようとしてる。 【学びに向かう力、人間性等】 物語や言葉と音楽の関わりや他の文化が互いにどのように影響をしあって発展してきたかに関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	4
	O 世界のさまざまな音楽の魅力 【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりや特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の諸民族の様々な音楽表芸の多様性を捉え、それぞれの音楽が生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴こうとする。 【学びに向かう力、人間性等】 諸民族の楽器や声の音楽に関心をもち、日本民謡の比較を通して固有性、共通性を考えようとする。	○世界のさまざまな音楽 ・アジアの音楽 ・世界の声の音楽 ○日本の民謡				○	【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりや特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の諸民族の様々な音楽表芸の多様性を捉え、それぞれの音楽が生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴こうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 諸民族の楽器や声の音楽に関心をもち、日本民謡の比較を通してお有性、共通性を考えようとしている。	○	○	○	4
	P リズムを楽しむ 【知識及び技能】 ボディーパーカッションのコツを覚え、拍子にのってリズム表現をする。 【思考力、判断力、表現力等】 リズム、強弱、構成を知覚し、どのように表現するかイメージをもって演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】 他のパートとの関わりも考えながら、曲全体がバランスよくまとまるように協働的に活動に取り組もうとする。	○ボディーパーカッション ・Hit the Beat		○			【知識及び技能】 ボディーパーカッションのコツを覚え、拍子にのってリズム表現をしている。 【思考力、判断力、表現力等】 リズム、強弱、構成を知覚し、どのように表現するかイメージをもって演奏している。 【学びに向かう力、人間性等】 他のパートとの関わりも考えながら、曲全体がバランスよくまとまるように協働的に活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4 合計 78

年間授業計画 新様式

東京都立世田谷泉 高等学校　令和６年度　教科：　芸術　　科目：歌唱

教　科：　芸術　　科　目：　歌唱　　単位数：　2　単位

対象年次・講座：　　年次　① ② ③ ④

教科担当者：①②③田中光

使用教科書：（ なし　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】　芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　歌唱　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、言葉の特性と曲想に応じた発声との関わりについて理解している。 【技】姿勢や呼吸などの身体の使い方、曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱で表現している。	音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもっている。	言葉の特性や曲想にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	A オリエンテーション、日本の歌① 【知識及び技能】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解する。身体の使い方、曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付ける。【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもってどのように歌うかについて考える。【学びに向かう力、人間性等】音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもつ。	◆姿勢や呼吸などの身体の使い方を知る。 ◆自分の声と発声のしくみを知る。 ◆読譜、視唱。 ◆日本語の抑揚や間、語感、歌詞としてのまとまりが旋律の流れやフレーズにどのように表されているかについて。 「コールユーブンゲン」「コンコーネ」「花は咲く」「花」「荒城の月」ジブリ作品の楽曲、等	○			○	【知識及び技能】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解する。身体の使い方、曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付けている。【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもってどのように歌うかについて考えている。【学びに向かう力、人間性等】音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもっている。	○	○	○	20
	B ヨーロッパの歌①[イタリア] 【知識及び技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解する。曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱で表現する。【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもつ。【学びに向かう力、人間性等】イタリア語の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもつ。	◆イタリア語の言葉の特性と旋律やリズム、曲の構成などとの関わりについて。 ◆言葉の抑揚や言語のもつ質感。	○			○	【知識及び技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱で表現している。【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもっている。【学びに向かう力、人間性等】イタリア語の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもっている。	○	○	○	16
	C ヨーロッパの歌②[ドイツ・フランス] 【知識及び技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解する。曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱で表現する。【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもつ。【学びに向かう力、人間性等】ドイツ語やフランス語の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもつ。	◆ドイツ語やフランス語の言葉の特性と旋律やリズム、曲の構成などとの関わりについて。 ◆アクセントや子音・母音の扱い、語感の違い。 ◆言葉の抑揚や言語のもつ質感。	○			○	【知識及び技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付け、歌唱で表現している。【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもってどのように歌うかについて思いや意図をもっている。【学びに向かう力、人間性等】ドイツ語やフランス語の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもっている。	○	○	○	12

後期	F映画音楽・ミュージカル 【知識及び技能】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりを理解する。身体の使い方、曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付ける。【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもってどのように歌うかについて考える。【学びに向かう力、人間性等】オペラという総合芸術において物語と音楽がどのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響をし合って発展してきたかに関心をもつ。	♦総合芸術における音楽の魅力。 ♦物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか。 ♦音楽と他の文化が互いにどのように影響をし合って発展してきたかの考察。	○			○	【知識及び技能】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりを理解している。身体の使い方、曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付けている。【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもってどのように歌うかについて考えている。【学びに向かう力、人間性等】オペラという総合芸術において物語と音楽がどのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響をし合って発展してきたかに関心をもっている。	○	○	○	14
	C オペラ 【知識及び技能】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりを理解する。身体の使い方、曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付ける。【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもってどのように歌うかについて考える。【学びに向かう力、人間性等】オペラという総合芸術において物語と音楽がどのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響をし合って発展してきたかに関心をもつ。	♦総合芸術における音楽の魅力。 ♦物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか。 ♦音楽と他の文化が互いにどのように影響をし合って発展してきたかの考察。	○			○	【知識及び技能】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりを理解している。身体の使い方、曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付けている。【思考力、判断力、表現力等】自己のイメージをもってどのように歌うかについて考えている。【学びに向かう力、人間性等】オペラという総合芸術において物語と音楽がどのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響をし合って発展してきたかに関心をもっている。	○	○	○	16 合計 78

年間授業計画　新様式例

東京都立世田谷泉　高等学校 令和６年度（１学年用） 教科　芸術　科目 写真

教　科：　芸術　　科　目：　写真　　単位数：　2　単位

対象年次・講座：　1～４　年次　① ② ③

教科担当者：　①村上　奈月 ②村上　奈月 ③村上　奈月

使用教科書：　（ 無し　　）

教科　芸術　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】　芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目　写真　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
写真・カメラの基礎基本、原理を理解し、表現に合わせた撮影技術や制作（印刷）する力を身に着ける。	目的に合わせた操作や工夫、シャッターチャンスを習い、自分の意図した表現に向かって試行錯誤する。制作（印刷）では構図や色階調によって表現が変化することを理解し自分の表現や感性を追求する姿勢を身に着ける。	カメラや写真表現の面白さに気づき、講義や講習、実習、グループワークに主体的かつ協調性を持って取り組むことで他者とのコミニケーションをとる力や互いに尊重しあう姿勢を身に着ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 撮影	表現 選抜	表現 印刷	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	表現・鑑賞／鑑賞「写真の基礎基本・写真の原理と歴史」 【知識及び技能】写真の原理であるピンホール効果を学び、カメラの仕組みや歴史を理解する。【思考力、判断力、表現力等】カメラを実際に触り、構造や仕組みを体験的に理解する。【学びに向かう力、人間性等】様々な教材に興味を持ち、講義の内容について主体的に学姿勢を養う。	【指導事項】カメラの原理と歴史について体験的に学ぶ。実際にカメラを手に取り、構造や仕組みについて理解する。 【教材】プリント、トレーシングペーパー、デジタル一眼レフカメラ、フィルムカメラ				○	【知識・技能 】写真の原理や仕組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】ピンホール効果やカメラを実際に触ることで原理や構造を体験することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】講義内容に興味を持ち、主体的に取り組もうとしているか。	○	○	○	8
	表現・鑑賞／撮影・選抜「シャッタースピードと絞りの効果」 【知識及び技能】三脚・一眼レフカメラの操作方法を理解し目的に合わせた撮影をする。 【思考力、判断力、表現力等】シャッタースピード、絞りを調節し自分が面白いと思う表現を撮影し、選抜する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的にグループワークを行う。	【指導事項】デジタル一眼レフカメラを使いシャッタースピード速い・遅い、絞り　大きい、小さいによって写真がどのように変化するかを知る。実際にグループに分かれて4パターンの撮影を行う。【教材】デジタル一眼レフカメラ、三脚、プリントSDカード、BYOD端末 【一人１台端末の活用】撮影したデータから印刷する作品を選抜する。	○	○		○	【知識・技能】道具の使用方法を理解しているか。シャッタースピードと絞りの効果を理解しまた撮影しているか。 【思考・判断・表現】シャッタースピードと絞りによって変化する表現の撮影に成功しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】協調性を持ってグループワークを行っているか。他者の作品を鑑賞し、様々な表現があることを理解したか。	○	○	○	12
	表現・鑑賞／撮影「スタジオ撮影・ライティングの効果」 【知識及び技能】ライティングやレリース、フィルムカメラの使用方法を学び撮影を行う【思考力、判断力、表現力等】カメラマンとしてモデルやアシスタントに指示を出し自分の表現したい作品を目指す。 【学びに向かう力、人間性等】グループワークに主体的に取り組む。	【指導事項】スタジオ撮影機材、ライティングの効果を理解し。黒バック、白バック、教室の３つのパターンで撮影をグループで行う。 【教材】プリント、フィルムカメラ、フィルム、レリース、スタジオ機材、デジタル一眼レフカメラ、三脚、プリントSDカード	○			○	【知識・技能】ライティングの効果とフィルムカメラの操作について理解し、撮影を行えているか。 【思考・判断・表現】ライティングやモデルにポーズを指示を出し自分が面白いと思う作品を表現しようとしているか。 【主体的に取り組む態度】カメラマンやアシスタントとしてグループでの撮影を主体的に行えているか。	○	○	○	12
後期	表現・鑑賞／印刷「暗室実習Ⅰ黒バック、白バック、教室の引き伸ばし」 【知識及び技能】暗室の注意事項、引き伸ばし機の使い方を理解し写真を現像する。現像の手順を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】ネガの中から自分の好きな作品を選び、引き伸ばす。色の濃さを調整する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に現像作業を行う。作品完成後、他者の作品を鑑賞し、様々な表現を味わう。	【指導事項】7月に撮影したフィルムのネガを使い、暗室で引き伸ばし作業（写真を現像する）を行う。完成した作品を鑑賞し講評会を行い、展示準備をする。 【教材】ネガ、暗室機材、現像液、エプロン、印画紙、プリント		○	○	○	【知識・技能】暗室機材の使い方や現像の手順を理解しているか。 【思考・判断・表現】ネガの中から自分の気に入った作品を選抜し現像する。選抜した作品を表現に合わせた階調に仕上げているか。 【主体的に取り組む態度】主体的に作業に取り組んでいるか。他者の作品を鑑賞し、様々な表現があることを知ることができたか。	○	○	○	12
	表現・鑑賞／撮影「望遠レンズ・マクロレンズの効果」 【知識及び技能】望遠レンズ・マクロレンズの効果を知る。【思考力、判断力、表現力等】レンズの特性を考えながら校内を撮影する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的かつ協調性を持ってに撮影を行う。	【指導事項】望遠レンズ・マクロレンズを使い、グループに分かれて撮影を行う。 撮影データから自分の気に入った作品を選抜する。【教材】デジタル一眼レフカメラ、三脚、プリントSDカード、BYOD端末 【一人１台端末の活用】撮影したデータから印刷する作品を選抜する。	○	○		○	【知識・技能】望遠レンズとマクロレンズの効果を理解したか。 【思考・判断・表現】レンズの特性を考え撮影をし、感性を働かせて作品を選抜しているか【主体的に取り組む態度】主体的に撮影に取り組んでいるか。	○	○	○	10
	表現・鑑賞／撮影「セルフポートレート」 【知識及び技能】フィルムカメラ、ライトの使い方を理解し、操作する。【思考力、判断力、表現力等】自分自身を表現することを考え、工夫し撮影をする。 【学びに向かう力、人間性等】主体的かつ協調性を持ってに撮影を行う。	【指導事項】自分自身を表現することを考えて「白バック」、「背景と私」、「大人と私」の3種類の撮影を行う。 【教材】プリント、フィルムカメラ、フィルム、レリース、デジタル一眼レフカメラ、三脚、プリント、SDカード	○			○	【知識・技能】カメラや機材の使い方を理解し撮影しているか。 【思考・判断・表現】自分自身を表現するために考え、ポーズや構図、背景を工夫をしているか。 【主体的に取り組む態度】主体的に作業に取り組んでいるか。	○	○	○	12
	表現・鑑賞／印刷「セルフポートレート」 【知識及び技能】暗室の注意事項や機材の使い方を理解し、操作する。【思考力、判断力、表現力等】ネガの中から自分の感性に合った作品を選抜し、表現に合った階調に現像する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に現像作業を行う。作品完成後、他者の作品を鑑賞し、様々な表現を味わう。	【指導事項】・現像されたネガから自分の気に入った物を暗室で引き伸ばす。完成した作品を鑑賞し講評する。展示準備をする。【教材】ネガ、暗室機材、現像液、エプロン、印画紙、プリント		○	○	○	【知識・技能】暗室機材の使い方や現像の手順を理解しているか。 【思考・判断・表現】ネガの中から選抜した作品を表現に合わせた階調に仕上げているか。 【主体的に取り組む態度】主体的に作業に取り組んでいるか。他者の作品を鑑賞し、様々な表現の良さに気づくことができたか。	○	○	○	12 合計 78

年間授業計画 新様式

東京都立世田谷泉　高等学校　令和６年度　教科：　芸術　　科目：陶芸

教　科：　芸術　　科　目：　陶芸　　単位数：　2　単位

対象年次・講座：　１～４　年次　① ② ③ ④

教科担当者：①山岸　稜　②吉田　美幸　③金子　朋加④

使用教科書：（ なし　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】　芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目　陶芸　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、陶芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や焼き物の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。	主体的に陶芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり陶芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、陶芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会をより豊かにするために工夫する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 身	表現 社	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	表現/鑑賞「手びねり」【知識及び技能】手びねり技法で作られた器の用途と美しさとの調和を考え、技法の特性を生かした器を構想する。　【思考力、判断力、表現力等】実際に使用した時まで構想に含み、その構想に沿った図案を練る。【学びに向かう力、人間性等】陶土の特性を感覚的にとらえ、表現する際にも意図に応じて特性を生かす。	【指導事項】手びねり　玉づくりぐい飲み制作　紐づくり　マグカップ制作【教材】陶土・ボウル・霧吹き・ヘラ・手ろくろ・釉薬【一人１台端末の活用】参考作品閲覧。作品の制作工程や完成形を写真で記録する。	○		○	【知識・技能】陶芸の歴史を知る。陶芸技法について知る。【思考力・判断力・表現力等】「手びねり」の特性を知り、制作に生かす。【学びに向かう力・人間性等】休まずに授業に出席し、限られた時間内により良いものを作ろうとする。	○	○	○	20
	表現/鑑賞「たたらづくり」【知識及び技能】伝統技法を学び、たたらづくりについて知る。【思考力、判断力、表現力等】技法を生かした表現方法について考察し、制作の構想を練る。【学びに向かう力、人間性等】技法の特性を学び、表現する際にも意図に応じて制作に生かす。	【指導事項】たたらづくり　花器組皿制作【教材】陶土・ボウル・霧吹き・ヘラ・たたら板・切り糸・下絵具・釉薬【一人一台端末の活用】参考作品閲覧。作品の制作工程や完成形を写真で記録する。		○	○	【知識・技能】たたらづくり技法の特性を知り、技法に生かす。【思考力・判断力・表現力】たたらづくりの作品や、技法を通して、我が国の伝統文化について興味を深め、自分なりの考えを持つ。【学びに向かう力・人間性等】特性に合わせた材料の扱い方を工夫し、表現に生かす。	○	○	○	19

後期	表現/鑑賞「電動ろくろ」【知識及び技能】電動ろくろ技法で作られる器の用途と美しさとの調和を考え、技法の特性を生かした器を構想する。【思考力、判断力、表現力等】実際に使用した時まで構想に含み、その構想に沿った図案を練る。【学びに向かう力、人間性等】陶土の特性を感覚的にとらえ、表現する際にも意図に応じて特性を生かす。	【指導事項】電動ろくろ　茶碗制作【教材】陶土・ボウル・霧吹き・ヘラ・電動ろくろ・切り糸・釉薬【一人一台端末の活用】東京国立近代美術館教育用作品保管ページにアクセスし、鑑賞する。作品の制作工程や完成形を写真で記録する。	○		○	【知識・技能】電動ろくろの特性を知り、作業に生かす。【思考力・判断力・表現力等】ろくろ技法の歴史などを知ったうえで、造形的な視点から自己の表現につなげる。【学びに向かう力・人間性等】伝統工芸について理解を深め、興味を持って作業に取り組む。	○	○	○	19
	表現/鑑賞「自由制作」題材自由【知識及び技能】陶土、釉薬の特性、用具の名前などを知り、表現に応じて技法を使い分ける。　【思考力、判断力、表現力等】実際に使うことを想定して自分やまわりの生活を振り返り、使いやすさについて考える。【学びに向かう力、人間性等】陶土の特性を感覚的にとらえ、表現する際にも意図に応じて特性を生かす。	【指導事項】電動ろくろ　茶碗制作【教材】陶土・ボウル・霧吹き・ヘラ・電動ろくろ・切り糸・釉薬【一人一台端末の活用】参考作品閲覧。作品の制作工程や完成形を写真で記録する。		○	○	【知識・技能】これまでの授業で学んだ陶芸の特性を踏まえ、自己の表現に生かす。【思考力・判断力・表現力等】他者や自分が使用する場面を具体的に構想し、自己の表現につなげる。【学びに向かう力・人間性等】技法の特性に合わせた表現の工夫をし、制作に生かす。	○	○	○	20
										合計 78

年間授業計画　新様式

東京都立世田谷泉　　高等学校　　令和６年度　教科：　　芸術　　科目：美術Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象年次・講座：　1　　年次　①②③

教科担当者：①山岸　稜　　②山岸　稜　　③安部　貴住

使用教科書：（ 光村図書　美術Ⅰ ）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】　芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目　美術Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	表現・鑑賞／絵画「身近なものを描こう」【知識及び技能】画材の使い方・特性を理解し線の強弱やそれぞれの道具の特性を生かして表す【思考力、判断力、表現力等】鉛筆、色鉛筆、パステルの特徴を基に、陰影・色彩表現やハッチングの効果を考え、構想を練る。【学びに向かう力、人間性等】それぞれの画材の使い方、特性、描き方などを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。	・モチーフをよく観察し、印象や具体的な表現方法を模索する。 ・それぞれの画材の使用方法を学び、用意したモチーフに合わせて選択し、描画する。 ・鉛筆、色鉛筆、パステル、ガーゼ	○			○	【知識・技能 】意図に応じて鉛筆、色鉛筆、パステルなどの特性を生かすとともに、線の強弱など表現方法を創意工夫して表している。 【思考・判断・表現】色彩の濃淡やそれぞれの画材技法のよさや美しさを感じ取り、創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】鉛筆、色鉛筆、パステルの特徴を基に、身近な題材や色彩構成について観察し、感じ取ったことや考えたことを基にした表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	表現・鑑賞／絵画「あなたの風景画」 【知識及び技能】空間や遠近感、建築物や植物の質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や水彩絵の具の特性を生かして表す。【思考力、判断力、表現力等】風景画の特徴や美しさなどを基に、画面構成、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。【学びに向かう力、人間性等】風景画の特徴や美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。	・学校に通ってくるまでの道や、学校内で撮影した写真を基に、水彩絵の具を使ってスケッチする。 ・風景写真（A4サイズ・カラー）、鉛筆、水彩絵の具、筆 ・一人一台端末で他者の作品についての感想を記入しクラス内で共有させる。	○			○	【知識・技能】意図に応じて水彩絵の具の特性を生かすとともに、色彩や画面構成など表現方法を創意工夫して表している。 【思考・判断・表現】他者の作品のよさや美しさを感じ取り作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え見方感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】風景画、水彩画の美しさなどを観察し、感じ取ったこと考えたことを基にした表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	18
	表現・鑑賞／絵画「空想上の生き物を描こう」【知識及び技能】空想上の生物を描く為に、墨や筆の特性を理解し、効果的な表現方法を模索しながら主題を追求して表現する。【思考力、判断力、表現力等】空想上の生物へのイメージなどを基に、形や質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】空想上の生物を墨で表現することへ関心を持ち、創造活動に主体的に取り組む。	・一人一台端末で空想上の生物について調べ、資料を集める。 ・水墨画について理解を深め、白黒で生き物を表現する。 ・墨汁、筆、一人一台端末	○			○	【知識・技能】空想上の生物を描く為に、墨や筆の特性を生かし創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。【思考・判断・表現】墨の特性を生かした作品のよさや美しさを感じ取り作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え見方感じ方を深めている。 【主体的に取り組む態度】水墨画と空想上の生物のイメージなどを基に、墨表現の特性や表現方法を踏まえ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	18

後期	表現・鑑賞／デザイン「コラージュ　テクスチャー探し」【知識及び技能】構図やバランス、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、コラージュの特性を生かして表す。【思考力、判断力、表現力等】フロッタージュを基に主題を決め、組み合わせなどの効果を考え、コラージュの構想を練ったり鑑賞したりする。【学びに向かう力、人間性等】フロッタージュ・コラージュを理解し、構図や組み合わせを表す創造活動に、主体的に取り組む。	・色鉛筆とコピー用紙を使用し、校内でフロッタージュを行い、集めたテクスチャーでコラージュを行う。 ・コピー用紙、色鉛筆、はさみ、のり、一人一台端末	○			○	【知識・技能】フロッタージュしたモチーフを基に構図や色彩、配置、組み合わせなどの効果や材料の工夫など造形的な特徴を基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 【思考・判断・表現】造形的なよさや美しさを感じ取り、伝えるための創造的な表現の工夫を捉えるなどして見方や感じ方を深めている。 【主体的に取り組む態度】主体的に材料や表現方法などを工夫してコラージュで表す表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	表現・鑑賞／絵画「私の世界」 【知識及び技能】自分の心の中の思いや感情を表現するために、より効果的な表現方法を選択し、主題を追求し、狂言を創意工夫している。【思考力、判断力、表現力等】現在の自分を客観的に観察しながら主体的に主題を生成し、自己を構成しているものを構想し、創造的に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】ペン画の特徴などを生かして創造活動に主体的に取り組む。	・一人一台端末を使用し、自己を形成している要素についてまとめ、資料を集める。 ・集めた資料と自分の写真を画面構成し、転写し、ペンで清書する。 ・自分の写真、デザインカッター、のり、鉛筆、黒ペン、一人一台端末		○		○	【知識・技能】形や構成の効果などが感情にもたらす効果や、用いる画像や場面、目的や条件、機能や用途などを考え、全体のイメージで捉えることを理解している。 【思考・判断・表現】現在の自分の構成しているものを表現するための形や色彩、構成の特徴や美しさなどを感じとり、表現の意図と創造的な構想について考え、見方や感じ方を深めている。【主体的に取り組む態度】主体的に主題を生み出し、構想を練り、意図に応じて創造的に工夫し見通しをもって表す表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	20
											合計 78